

クルーズ誘致へ 観光で意見交換

九大BSフォーラム

九州大学ビジネス・スクールの25日、外航クルーズ船の誘致と、観光振興について考えるフォー

ラムを福岡市で開き、地元や中国の産学官の関係者が意見を交わした。

「観光地としての九州

の魅力」をテーマにしたパネル討論では、肖貴蓉・大連理工大管理學院副教授が、「案内板など

の言語表示が不十分で、英語、中国語を話す人も少ない」と受け入れ態勢の不備を指摘した。

ファンド運営会社、ド

ーガン・インベストメンツ(福岡市)の森大介社長は、投資先のホテルで

ロビーに着物姿の女性を配置し、外国人客に好評だと紹介。「ハードからハートへの発想転換が必要だ」と強調した。

松平誠・日本外航客船

協会前会長(郵船クルーズ顧問)は「クルーズの上陸観光の移動時間は1

時間半が限度。この圏内でいかに多くの観光コー

スを設定できるか」として、来春全線開通の九州

新幹線鹿児島ルートを使った観光ルート多様化が

必要との認識を示した。